

弘前の活動報告

弘前薬剤師会 常務理事 加藤 傑

2020年9月16日、弘前にて吸入療法研修会が開催され、日本薬剤師研修センター集合研修が1単位発行されました。zoomを用いた研修会は初めてでしたが、今回の経験が皆様の一步につながればと思い報告致します。なお、申請方法や形式的な話は日本薬剤師研修センターのHPに「いわゆる座学による研修会の実施方法に関する時限的特例について」（令和2年7月7日）や質問への回答がございますので、そちらを参考にいただければと思います。また、執筆段階でzoomのバージョンは5.2.3であり、仕様が変更している可能性がありますのでご了承ください。

(1) 事前設定

zoomでスケジュールを組む際、「登録」を必須にすると、使用状況レポートで参加申込者の一覧をダウンロードできます。登録する際の項目は「カスタムの質問」として管理者側で設定でき、今回の研修会においては薬剤師免許番号や使用するデバイスを追加しました。免許番号は研修センターにデータとして送る必要があります。また、デバイスはトラブル発生時に相手がPCなのかタブレットなのかで視聴画面や操作方法が異なるためです。

(2) 通知と連絡方法

参加者への通知はFacebookページと弘前薬剤師会の会員薬局へFAXで行いました。参加人数を20名までと制限し、申込者には資料や事前の注意事項をメールしました。

(3) 受講時間管理の方法

日本薬剤師研修センターによると「講義中に示されたキーワードを受講者が研修実施者に報告することにより行うこと。」「キーワードの確認に関する書類を2年間保存すること」となっており、弘前薬剤師会では2回キーワードを出すことにしております。

(4) 配信環境とトラブル

配信を安定させるためには、Wi-Fiではなく有線が望ましいです。PCのスペックでは「ラップトップで最適な画面共有パフォーマンスを得るには、クアッドコアプロセッサ以上をお勧めします。」と公式サイトにあります。実際、私はMacBookPro2014、コア数2の画面共有で講演していた際、パソコンがフリーズしてしまいました。PCを再起動することも考えましたが大幅な時間のロスです。キーボードがどこも反応せず、体も凍りついていくのを感じる中、共同ホストであった齋藤武先生が強制的に画面共有をして、一時的にPCの負荷を抑えてくれたところ、フリーズが解かれました。配信者側はできるだけPCの負荷を避けるため、アプリケーションなども閉じて、また、もしものときの共同ホストを割り当てておいた方が無難です。

(5) 投票機能

管理者の機能になりますが、参加者にアンケートをして、その場で結果を共有することができます。これまでの座学の研修会でも実施は可能でしたが、zoomでは投票を起動すると参加者の画面にポップアップされて、気軽にできるのが特徴です。質問内容や選択肢は事前に作成する必要がありますが、集計の手間も省けるため、今後利用する機会が増加していくと思われます。

(6) zoom 研修を終えて

全体で17名の参加でした。大きな中断もなく無事終わることができてほっとしております。時限的特例は令和3年3月31日までとなっておりますが、限られた時間の中で青森県吸入療法研究会のメンバーと2回予定できたことが大きかったです。今後、各地域で研修会が開催されると思われますが、参加される先生が意見しやすい環境を作り、また成功例や失敗例を共有することが重要であり、その積み重ねが研修会の質の向上につながります。コロナ渦において制限され続け楽しみが減ってしまったことは否めませんが、逆にこの環境だからこそ出来ることに薬剤師皆で協力し、新たな道を切り開いていきましょう。